



ピタゴラス

JunP Nozaki

ピタゴラス

その日、太宰桃男は、彼女とドライブに出かけた。彼女は、「海へ行きたいわ」というので、桃男は、カーナビに向かって「海へ」とつぶやく。すると、この最新のカーナビは、目的地をドライバーの音声で認識し、ドライバーがアクセルを踏むわけでもなく、最も近い海に向けて静かにスタートした。

20×9年、ガソリン、ハイブリッド、電気と自動車の動力が変遷し、今度は、自動車の操作が自動化される技術が開発された。自動車のスイッチを入れ、（電気自動車の普及で、今では、エンジンをかけるとは言わなくなった。）カーナビに目的地を入力すると、対向車や道路状況をサーチし、自動で目的地まで運転してくれる。

「あなたって、口数が少なすぎるんだから」

「ああ」

「ちゃんと話してくれないと、あなたの気持ちが伝わらないわ」

「うん。でも最近流行のおしゃべりロボットみたいにしゃべる気にはなれないだけさ」

「ロボットは、人間がモデルなんだから、おしゃべりでロボットに勝てないってことは、人間失格ってことだわ」

「おれだって、しゃべろって言われればしゃべれるさ」

「じゃ、何か話して」

「何を？」

「えーと。じゃ、この自動運転システムのこと。あなた、開発者の一人なんでしょ」

「ああ」

「じゃあ、まずは、カーナビのこと教えてよ。なんで車の位置がわかるの」

「うん。それ自体は、数十年前からの技術なんだ。GPSシステムってのがあって、静止衛星と、その真下の地面のポイントと車の3点を結んで三角形を作るんだ。それは直角三角形で、ピタゴラスの定理を適用すると、真下のポイントから車までの距離が計算できる。3つ以上の衛星を同時に使うことで車の位置が特定される」

「はああ、桃男もちゃんとしゃべれるんじゃない。この車が動くのは、そのなんとかゴラスって怪獣のせいなのね」

「……」

「あっ、海に近づいたんじゃないかしら。ちょっと、窓を開けてくれる」

車は、着実に海に近づいていた。車に潮風が入ってきた。

「ねえ、キスして」

「運転中じゃないか」

「たいした運転もしてないんでしょ」

二人は、軽いキスを交わしたあと、ついには、運転席と助手席を横断する形で抱き合っていた。もちろん、自動運転システムは、安全に走行し、「勝手に」目的地に向かっている。

翌日テレビのニュースで。

昨日深夜、東京都の会社員、太宰桃男（25）さんが、防波堤から車で転落し、死亡しているのが発見されました。調べによると、おしゃべりロボット（女性タイプ）と抱き合っただけで亡くなっていたため、心中ではないかとの疑いをもたれましたが、自動車の走行記録によると、太宰さんが、自動運転システムに向かい、「海へ」と指示したことが残っており、システムは、指示通り「海へ」突入したものと判明しました。この事故を受けて、開発元のメロス社では、「あってはならないこと。開発者の一員である太宰くんの死を無駄にしない。」とコメントを発表しています。